

インクル

"Incl." by The Accessible Design Foundation of Japan (The Kyoyo-Hin Foundation)

The Periodical of Accessible Design

特集 賞と共用品

No. 111

2017(平成29)年 11月25日



目次 contents

■ “とっておきのアイデア”コンテスト(第2回)表彰式開催	2	■ 高齢社会に取り組む国際標準化	12
■ 共用品講座第101講「賞と共用品」	4	■ 共用品研究所 第1回勉強会	13
■ グッドデザイン賞	5	■ 国際福祉機器展生活支援コーナー総括のセミナー	13
■ 日本パッケージングコンテストに見る生活の中の包装	6	■ 「JISマーク普及・新市場創造型標準化制度活用企業展」に出展	14
■ バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰	7	■ 第15回福祉まつり(千代田)に出展	14
■ 「心のバリアフリー動画コンテスト」を開催しました!	8	■ 杉並区における共用品・共用サービスの広がり	15
■ 日本おもちゃ大賞 共遊玩具部門について	9	■ 事務局長だより	16
■ 各自自治体のアイデアコンテスト	10	■ 共用品通信	16

目が見えない・見えにくい私だから考えついた「どっておきのアイデア」コンテスト (第2回) 表彰式開催

平成29年11月3日、「サイトワールド2017」にて、第2回「目が見えない・見えにくい私だから考えついた」どっておきのアイデア「コンテスト」の表彰式を開催しました。

今回のコンテストでは、盲学校の部では29名、34作品、一般の部では55名、90作品の応募をいただきました。

昨年度の応募と比較すると応募総数は減ったものの、内容は大変充実していました。それぞれのアイデアは、移動、衣服、家電製品、玩具、光学機器、書籍、情報食品、日用品、文房具の分野に亘り、どれも今後のモノづくりに活かせるようなものばかりでした。

審査は審査員会にて厳正に行い、盲学校の部、一般の部ともに以下の3つの視点から、最優秀賞(各部1名)、優秀賞(各部2名)、入賞(各部5名)を選定しました。

1. 夢のあるもの(非現実的なものであるが、夢があり希望が持てるものなど)

2. 実現可能性があるもの(現実的であり、製品化可能なもの、あるいは少しの工夫で製品化ができるようなものなど)

3. ユニークさ(斬新さ)があるもの(アイデアの内容がユニークであり、楽しみの持てるものなど)

盲学校の部 最優秀賞

盲学校の部で最優秀賞に輝いたのは愛媛県立松山盲学校中学3年生の宇佐亮さん(うさひろ)の作品でした。弱視の人達のために考えた「ワールドワイドグラス(WWG)」は、現時点での商品化は難しいかもしれませんが、そのニーズは高く、夢があり希望が持てるものでした。

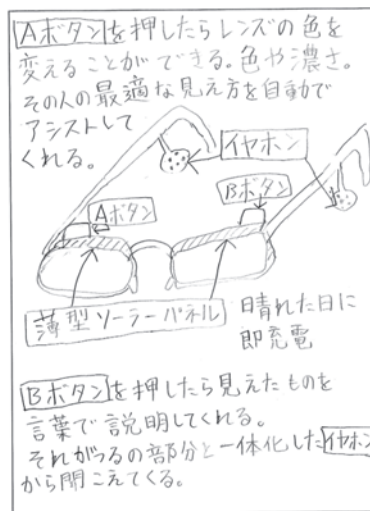
盲学校の部 《最優秀賞》

ワールドワイドグラス(WWG)

宇佐 亮さん
(愛媛県立松山盲学校 中学3年生)

屋外に出た時、しゃ光めがねにかけかえるわずらわしさが無い。ボタン一つでこのみの見え方になる。見えにくいものも言葉で説明してくれる。

- ・Aボタン…しゃ光レンズ
- ・Bボタン…見えたものを言葉で説明してくれる。
- ・イヤホン…音声ガイド
- ・薄型ソーラーパネル…自動充電



2

ワールドワイドグラス(WWG)

は、屋外に出た時、遮光めがねにかけかえるわずらわしさが無い。ボタン一つで好みの見え方になる。見えにくいものも言葉で説明してくれるものです。ボタンが付いており、それぞれの機能は以下の通りです。

- ・Aボタン…遮光レンズ
- ・Bボタン…見えたものを言葉で



田中徹二審査員長(左)、宇佐亮さん(右)

一般の部 《最優秀賞》

お醤油シートわさび味

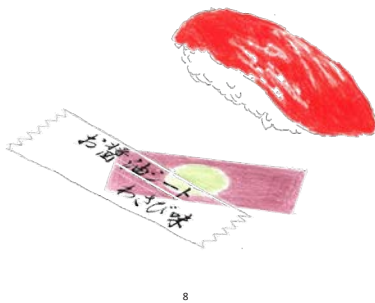
石川 修さん

(神奈川県足柄上郡)

視覚障害者はおさしみやお寿司などを食べるときに醤油が適量かけられなかったり、わさびなどは適量取れず、うまく食べることが出来なかった。このアイデアでは、醤油とわさびを適量1枚のシートにするというものである。

醤油とわさびが一つのシートになっていることで、さしみの上のせて食べたり、すしてはごはんとの間にはさんでしまうことで手が汚れたりせずに食事を楽しむことが出来る。このアイデアでは醤油とわさびの組み合わせであるが、例えば醤油と生薑などでもよい。またシート状になっているので持ち運びに便利であり海外旅行に行った時でも使いやすい。

また、本アイデアの応用としてシート状の歯磨き粉もある。使い方は、このシートをガムのように口に放り込み歯磨きをする。今まで歯磨き粉を歯ブラシにつけづらかったがこれで解消。



田中徹二審査員長（左）、石川修さん（右）

説明してくれる。

・イヤホン…音声ガイド

・薄型ソーラーパネル…自動充電

一般の部 最優秀賞

一般の部の最優秀賞は、石川修さんが考えた、視覚障害のある人達にとつてとても便利なアイデアで、今後の技術をもってすれば実現可能なのではないかと思わせる「お醤油シートわさび味」でした。

視覚障害のある人はおさしみやお寿司などを食べるときに醤油が適量かけられなかったり、わさびなどは適量取れず、うまく食べることができませんでした。お醤油シートわさび味のアイデアは、

醤油とわさびを適量1枚のシートにするというものです。

醤油とわさびが一つのシートになっていることで、さしみの上のせて食べたり、すしてはごはんとの間にはさんでしまうことで手が汚れたりせずに食事を楽しむことができるものです。

今年の入賞作品 盲学校の部

優秀賞（2点）

北田佳琳さん「アイ棒」

広瀬由花さん「音声付カラオケマシーン」

入賞（5点）

太田愛菜さん「なんでも読み上げマウス」

塩原桃華さん「くろちゃんテープ」

田中紬士さん「自分にも周りにもぶつかっても痛くない」白杖」

長尾悠司さん「ガイドロボット『フレンド』」

三池心那さん「ともだちコンパクト」

一般の部

優秀賞（2点）

内田多美子さん「どっこい太郎」

大西浩子さん「これでキミも計量マスター！」

入賞（5点）

近藤貞二さん「しずかなカサ」

北村洋子さん「カビソナー君」

橋本隆夫さん「映像・音声変換アプリ」

五十嵐修一さん「3dものさし」

小池恭子さん「てのひらサイズのダンシングドール・with Dance」

来年第3回のアイデアコンテストを開催する予定ですので、期待していただければと思います。

森川美和

【受賞作品ウェブサイト】
<http://kyoyohin.org>



会場の様子

「賞と共用品」

日本福祉大学客員教授 ことうよしかず 後藤芳一

優れた成果を顕彰して他の手本として示す、授与する側は優れた例を通じて自らが進める路線を広報する——ここでは、こうした事業を「賞」と考える。よって名称や授与の対象は広くとらえる。

▼1 賞の目的と意義

受賞するための要件は、業績が優れ、かつ、法令違反などの問題がないことである。優れているとは、求める水準に達したという資格認定の性格（絶対評価・X）と、優れている順に可能な数だけ選ぶという競争的選抜（相対評価・Y）の性格がある。

授与する側の目的は、自らの組織や業界のなかで、あるいは社会全体で手本となる例を示すと同時に、授与者が進めようとする路線を普及広報することである。

その結果、賞の意義は、①受賞者が基準を満たす（X）・同分野で優れた位置にある（Y）ことが公的に認知される（顕彰・認知）、②受賞者の業績に、授与する賞の視点から新たな意味を加えられる（無味の追加）、③お墨付きを得ることで受賞者の社会的信用が

増し、今後の活動が後押しされる

（信用創造）、④模範を示すことで同様の取組みが促される（模範・誘導）、⑤事例を通じて贈る側の路線や求める水準を示すことができる（路線・基準の提示）、⑥有識者が選定に加わり知見を反映させることで、先に蓄積した業績に裏打ちされた知見が引き継がれる（蓄積の継承）、⑦優れた事例を顕彰することで贈る側の活動が社会で認知を得られる（広報普及）、⑧外部の人は受賞者リストからその分野の優れた例を把握できる（情報提供）、⑨手本を示すことや新人向けの顕彰を通じて後進の育成ができる（人材育成）などである。

▼2 賞の性格と種類

受賞の対象とする業績が生まれた時点として3つある。過去からの実績（P）、最近と現在進めている取組み（C）、将来に向けて（F）である。

評価の基準としては、絶対評価（1のX）と相対評価（同Y）がある。これら2つの基準をもとに賞の性格や種類を整理できる。

▼3 賞の事例

2の分類に事例を対応づけると次のようになる。一般的なものを選び分類が難しいものは筆者の私見によった。各項内の順序は、国際↓国内、政府↓民間の順である。

過去の実績（P）のうち絶対評価（X）は、世界遺産・褒章・叙勲・国民栄誉賞、文化勲章、文化功労者、国宝・重要文化財、人間国宝、伝統工芸士、現代の巧、名球会（野球）、殿堂入り（各種）などである。同相対評価（Y）は、ノーベル賞、日本国際賞、日本学士院賞など。

現在の取組み（C）のうちXは仏ワインの格付け、ミシユランの星つきレストラン、ニューヨーク近代美術館（MOMA）収蔵、ウールマーク、宮内庁御用達（1954年まで）、国立・国定公園、横綱、名取、免許皆伝・有段者、博士号、各種資格（例：弁護士）、SGマーク、特定保健用食品（トクホ）、全国新酒鑑評会金賞など。Yは五輪・パラリンピック（出場・入賞）、技能五輪（出場・入賞）、アカデミー賞、チャイコフスキー国際コンクール、ピューリッツァ賞、国

際数学五輪、ギネス各賞、芸術祭参加作品、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰、元気なモノ作り中小企業300社、政府の助成金に採択、日本学術会議会員、芥川賞、レコード大賞、グッドデザイン賞、囲碁・将棋の名人、日本カー・オブ・ザ・イヤー、最高殊勲選手（MVP）など。

将来に向けて（F）はYが中心であり、ベンチャーキャピタルが出資を決定、奨学金、新人賞など。

▼4 賞と共用品

取組みや業績は個々に違うので本人も周囲も値打ちを確認することが難しい。賞を得ることで業績が公共化される。その結果、賞は同じ分野、異なる分野の関係者、利用する関係者、後進人材への取組みを促し価値を創る。

不便さに対応する個々の取組みを横断的につなげる方法論をつくり、再度個々の取組みに還元する、先例を手本に取組みが広がるという共用品に通じるところがある。異なるのは、共用品は権威者・機関が顕彰するのではなく、利用者が評価・認知する点にある。

グッドデザイン賞

数ある賞の中でも、グッドデザイン賞をご存じの方は多いのではないのでしょうか。Gマークでも知られるこの賞をここでご紹介します。

グッドデザイン賞とは

この賞は、毎年選考が行なわれます。評価はデザインの優劣を競うものではなく、そのデザインが「くらしや社会を豊かにしうるのか」というデザインの効果・効用という視点から行ない、顕彰します。審査においても、目に見えない完成までのプロセス、思想、意義などの様々な面を考慮し、総合的に判断します。2017年度の応募作品は4495点、国の内外から前年を上回る応募がありました。これらの作品を審査した結果、1403点がグッドデザイン賞に決まりました。この中には「グッドデザイン・ベスト100」と「グッドデザイン大賞候補」7点が含まれていて、最終的に大賞候補7点の中から「グッド

デザイン大賞」が選ばれました。

「うんこ漢字ドリル」も受賞

グッドデザイン賞では、形のあるなしにかかわらず選考対象となります。今年、グッドデザイン賞に選ばれた1403点を見ると、補聴器、ペースメーカーなどの医療機器から鉄道車両、流通のしくみなど、分野は様々です。大人も楽しめるあの「うんこ漢字ドリル」(株文響社)も大賞候補に挙がりました。

グッドデザイン・

ロングライフデザイン賞

長い間製造販売され、生活者に支持され続けている優れたものに贈られる賞が「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」



小学生の黄色い安全帽子

です。今年の受賞作品には、日用品としても紹介した、左利きの人にも使えるカッターナイフ(エヌティー株)をはじめ、小学校に入学すると被る黄色い帽子(林八百吉株)、「中央通り(銀座地区) 歩行者天国」(銀座通連合会ほか)など25点が選ばれました。

グッドデザイン大賞発表

11月1日、2017年度グッドデザイン大賞の記者発表が行なわれました。受賞したのは「Venova (ヴェノーヴァ)」(ヤマハ株)。サクソフォンのような音色を持ち、軽くてコンパクトな管楽器です。リコーダーのようなやさしい指使いで、驚くことに水洗いができます。「洗えます」と言うタグが付いた最近の衣類のようです。

壇上に立ったのはヤマハ株の川田学氏(写真右)と辰巳恵三氏(同左)。川田氏は丁寧に Venova の説明をし、開発への思いを語りました。



Venova (ヴェノーヴァ)



大賞受賞者のあいさつ

デザインの先に生まれるもの

この大賞の授賞式に出席し、時代を象徴するデザインを創造する人たちの心と賞の重みを感じました。また、デザインは人の想像、願いから生まれ、出来上がったデザインから、また新しい芽が育つような広がり、かけがえのないものが生まれました。

かなまるしゅんこ
金丸淳子

日本パッケージングコンテストに見る生活の中の包装

公益社団法人日本包装技術協会 たけうちおさむ 竹内 攻

日本パッケージングコンテストとは

「日本パッケージングコンテスト」は、優れたパッケージとその技術を開発普及することを目的とするコンテストで、毎年開催しています。

本コンテストは、材料、設計、技術、デザイン、ロジスティクス、販売促進、アイデア、環境対応、適正包装等あらゆる機能をもて、食品、医薬品、化粧品、日用品・雑貨、電気・機器、大型・重量物などの各部門から年間の優秀作品を選定します。個装から外装まで、デザインからロジスティクスまで全てを網羅する、我が国のパッケージ分野における最大のコンテストです。本年度も6月に審査会が行われ、過去最多となる425件の応募作品の中から、12件のジャパンスター賞を含む138件の入賞作品が決定しました。

本年度入賞作品は

上位賞であるジャパンスター

賞は後援官庁団体よりそれぞれ賞をいただいております、その中の一つに、身体的な特性や障害にかかわらず、より多くの人々が共に操作・利用しやすく、安全にも配慮されたものに与えられる「公益財団法人共用品推進機構理事長賞」があります。今回は『Healthy Kitchen ZEROPlus 糖質0 ロースハム・ハーフベーコン』（日本ハム㈱/大日本印刷㈱）が受賞しました。この商品は、パッケージの「あけ口」形状の工夫と直進カットフィルムを用いた設計による開けやすさを特徴とするものでした。密着した包装の開封は、高齢者、手の自由が利きにくい人



公益財団法人共用品推進機構理事長賞

手の力の弱い人等にとって、不自由に感じるものの一つですが、この作品はその不自由さを解消し、開封性と安全性を共存させる工夫を施したとても素晴らしいものでした。

その他、視覚障害者等にも商品の識別がしやすい適切な工夫・配慮がなされているものに与えられる賞に「アクセシブルデザイン包装賞」があります。今回は、『S&B マスタード用改良キャップ』（エスビー食品㈱）、『ビューティブローケ』（㈱ファンケル/大和製罐㈱/吉田コスメワークス㈱/㈱吉野工業所）、『多発性骨髄腫治療薬「ニンラール®」カプセル 2.3mg・3mg・4mg』（パッケージ）（武田薬品工業㈱/㈱カナエ/相互印刷㈱）、『muo ミュオボディソープ 詰替用』（クラシエホームプロダクツ㈱/凸版印刷㈱）、『イオントップパリュDelichi パッケージ』（イオントップパリュ㈱/凸版印刷㈱）、『らくらくカド丸』（大王パッケージ

ジ㈱）の計6作品が選定されました。それぞれ、開封性、加齢による握力や視力の低下への対応、適切な使い方への誘導、内容物の視認性、取り扱いやすさの向上等が積極的に行われている点が評価されました。（主人賞作品は当会HPに掲載）

これからの包装の役割

内容物を保護し、取り扱いを容易にし、情報を表示することが包装の基本的な役割ですが、現代では、それらに加えて全ての人に優しい包装が求められています。特に日常生活に密着した商品の包装では、分かり易く、使い易いことが求められ、包装デザインや包装設計に反映されていますが、今後ますます研究開発が進められていくだろうと思われれます。本コンテストを通して、細やかな消費者ニーズに応え、人々から喜んでいただける包装開発がさらに活発化することを期待しています。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

東洋大学ライフデザイン学部 たかはしぎへい 高橋儀平

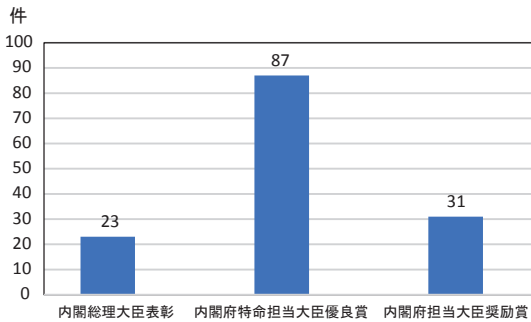
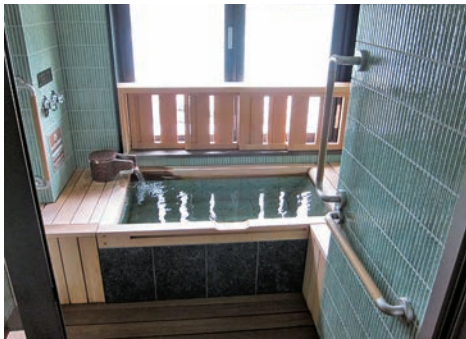


表1 これまでの受賞者数(平成14~28年度)、奨励賞は平成19年以降

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰について
本表彰は、平成14年度から始まり、当初の名称はバリアフリー推進功労者表彰であったが、第7回の平成20年度から現在の名称となった。表彰制度の目的は「高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労



富士レークホテルの浴室
(平成23年度内閣府特命担当大臣表彰(優良賞))

のあった個人又は団体を顕彰することである(同要領)。表彰対象は建築や施設に限らず、日常生活用品、情報機器、市民活動、学校教育等広範である。
表彰の実績
平成28年度までの15回で延べ141件が表彰された(表1)。内訳は内閣総理大臣表彰23件、内閣府特命担当大臣表彰(優良賞)87件、同担当大臣表彰(奨励賞)31件である。表彰の内訳としては、バリアフリーやユニバーサルデザインに関係する住民や各種団体の活動が最も多く

40%、企業等による製品・機器開発25%、ホテル、商業施設等の建築物15%、公共交通機関10%、学校教育4%、その他自治体の総合的な施策展開、観光事業など多彩である。選考は各分野9名の委員により審査され、第一次書類審査、第二次現地審査を踏まえて、総合的に討議し決定している。基準としては、他の団体や個人へ広く波及できるか、今後の拡大や取り組みが期待できるか、利用者の視点があるか、本来の義務ではなく自発的な取り組みであるか、バリアフリー社会へ直接的かつ具体的な活動か、そして継続性があるか、である。
公募は、各省庁をはじめ関係機関・団体、地方公共団体に周知され、広範な組織や団体からの推薦が得られている。筆者も審査委員の一人として加わっているが、毎年のことではあるが、なお、全国各地には多くの好事例が展開されているのではないかと推測される。

ハードとソフトが一体になった好事例
過去の表彰事例をみると、いずれもハードとソフトの関係性が良好である。建築面のバリアフリー化ばかりではなく、企画や運営面、利用者参加と評価が効果的に機能していることが認められる。製品開発や行政によるまちづくりでも、バリアフリー教育と開発が一体的であり、市民や障害児・者との交流経験が継続的に反映されている。

これからの期待

我が国のバリアフリー、ユニバーサルデザインは諸外国と比較しても最高水準のレベルに位置している。日本のモデルは世界のモデルといえる。幸いこれまで表彰された活動、製品は引き続き優良事例として展開されている。今後とも関係各機関から多くの応募を期待したい。

『参考』表彰制度や過去の表彰事例など、詳しくは内閣府HP「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進」をご覧ください。

「心のバリアフリー動画コンテスト」を開催しました！

東京都福祉保健局 生活福祉部地域福祉推進課 福祉のまちづくり担当

東京都は、高齢者や障害者など誰もが暮らしやすく訪れやすいまちを目指して、ハード・ソフトの両面からユニバーサルデザインの視点に立った福祉のまちづくりを進めています。

ソフト面の取組みとなる「心のバリアフリー」について、昨年度から、「心のバリアフリー・情報バリアフリー研究シンポジウム」～私たちの活動報告」ここから始めよう」～を開催し、学生による自主活動の報告や、「心のバリアフリー」の実践に向けて、自分たちができる行動について、聴講者の皆様とともに考えました。

この度、2年目の取組みとして、より多くの都民の皆様が、「心のバリアフリー」について、関心を持つとともに、理解を深める機会とするため、「東京から広がる『心のバリアフリー』をテーマに「心のバリアフリー」動画コンテストを実施しました。

審査会では、応募要領に定め

た「障害の社会モデル」の理解や、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の考え方を踏まえた作品としてはいずれも不十分であったことから、残念ながら最優秀賞、優秀賞とも該当なしとなりました。しかし、障害のある方に適切に配慮し、都民の行動に結びつけようという気持ちが込められた、『心のバリアフリー』(875 Beans 作)と『バリアフリー戦隊ダンサナクセイバー』(STEPエなどがわ作)の2作品を奨励賞として、11月4日に東京国際フォーラムで開催したヒューマン・ライツフェスタ東京2017において表彰しました。

表彰式の後、2作品の上映会が行われ、地域の中で暮らす車いす利用者にとつての段差やエレベーターなどのよくある身近な困りごとについて、さりげない声かけで解決していくという『心のバリアフリー』の作者からは、「人々の心がけ次第で誰もが住みやすいまちを作ること

ができる」というメッセージを伝えたかった」とのコメントがありました。

また、物理的な障害や心の壁を好むバリバリアンという悪者に対し、誰もが暮らしやすいまにしたいナクセイバーというヒーローが立ち向かう『バリアフリー戦隊ダンサナクセイバー』の作者からは、「ナクセイバーとバリバリアンは、全ての人の心の中に両方潜んでいる。どちらのパワーが強いか、どちらが強くなれば世の中が変わるのか。気づいたら行動を起こせるかどうかカギだと思う」とのコメントがありました。

審査員の方からは、『心のバリアフリー』に対して「地域での生活や、コミュニケーションの様子が分かりとても良かった。」「バリアフリー戦隊ダンサナクセイバー」に対しては、「何度見ても笑える。応募作品の中で唯一手話が使われていてよかった。段差がなぜいけないのかということもストーリーの

中で分かるのがいい。」といった意見がありました。

都民の皆様は「心のバリアフリー」の理解を広めていけるよう、都では今後も、様々な取組みを実施していきたいと考えています。



「心のバリアフリー」動画コンテスト受賞作品上映会の様子

日本おもちゃ大賞 共遊玩具部門について

一般社団法人日本玩具協会 事務局

なかだまこと
中田 誠

共遊玩具とは？

共遊玩具は一般向けに作られ販売される玩具のうち、目や耳に障害のある子ども達も皆と一緒に楽しく遊べるよう工夫された玩具です。

当会の共遊玩具推進部会による「モニター審査」で「共遊玩具」であることを認定しています。共遊玩具には「触って識別できる凸点」や「音声・光の点滅で玩具の遊びの状態を伝える」等、様々な工夫が施されています。

目の不自由な子ども達も楽しめる玩具には「盲導犬マーク」、耳の不自由な子ども達も楽しめる玩具には「うさぎマーク」を商品パッケージに表示することになっています。

日本おもちゃ大賞について

優良な玩具開発を促すために、当会では平成二十二年に「日本おもちゃ大賞」を創設しました。今回で第十回目の実施になります。毎



(上) 盲導犬マーク
(下) うさぎマーク



おもちゃショー開会式の様子

年、「東京おもちゃショー」(本年の開催は六月一日～四日)の記者発表に合わせて、大賞受賞商品の発表・授与式を行っています。

日本おもちゃ大賞には「イノベイティブ・トイ部門」「コミュニケーション・トイ部門」等の七部門があり、最終選考に残った五部門の中から大賞が選ばれます。

当会では、大賞の創設当初から「共遊玩具部門」を設け、その開発の促進を図っています。

大賞と共遊玩具部門について

日本おもちゃ大賞の共遊玩具部門の応募商品には、「既に共遊玩具として認定されているおもちゃ」と「共遊玩具になるのでは

とメーカーが期待しているおもちゃ」があります。後者については、「大賞への応募を検討した際は、共遊玩具を意識した」等の話もあり、共遊玩具部門があることが共遊玩具の取組みの動機付けの一つとなっています。

「共遊玩具部門」の審査には「共遊玩具推進部会」が当たっていますが、「操作がし易い」だけではなく、目や耳に障害のある子ども達にとつて「おもちゃとして楽しい」ことも評価の対象としています。

当会では、共遊玩具が玩具業界に広く根付くよう、各社の新入社員を対象としたセミナー(毎年六月開催)や中堅社員を対象とした「玩具業界セミナー」(毎年十一月

開催)で、共遊玩具の講習を行っています。

特に、「玩具業界セミナー」では、大賞の共遊玩具部門の五つの受賞商品の開発担当者出席をいただき、共遊玩具にするために、開発段階から取り組んだ配慮等を説明していただくとともに、「筑波大学附属視覚特別支援学校」等を訪問して子ども達と一緒に受賞玩具で遊ぶ機会を設け、その感想や今後の目標等を発表していただいています。

目や耳の不自由な子どもやその周囲の方々からの意見は、発表者にとって新たな発見にもなります。セミナーの受講者からは、発表者の共遊玩具の開発話を通し、配慮や工夫の経験値を上げられると大変好評です。

今後、目や耳の不自由な子が遊びを通して学べる玩具等(例:ままごとや工具類のおもちゃは目の不自由な子には疑似体験が出来て有効です)、メーカーにもユーザーにも有意義で納得のいく共遊玩具を選定できるよう努めていきたいと思っています。



審査風景

各自治体のアイデアコンテスト

都道府県、市区町村の各自治体では、年齢や性別、国籍、障害のあるなしにかかわらず、誰もが暮らしやすい社会づくりをすすめるために、ユニバーサルデザインやバリアフリーの取り組みを推進しています。その一環として、活動団体や既存の建物のバリアフリー化の取り組みを表彰したり、コンテストを開催してユニバーサルデザインのアイデアを募集しています。ここでは、そんな自治体が主催しているコンテストの一部を紹介します。今年度は、既に募集を終了しているコンテストもありますが、アイデアがある方は応募してみたいかがでしょうか。

いずれも当該地域での住や通勤・通学などが条件となつていきますので、お気を付けてください。

たくぼともかず
田窪友和

平成 29 年度「佐賀県ユニバーサルデザイン (UD) 作品コンテスト」の募集

『自分の好きな場所で、自分らしく、安心して毎日を暮らしたい。』年齢や性別、障害のあるなし、日本人・外国人など関係なく、人間みんなが共通して持っている願いです。

誰もが安心して暮らせる社会にするには、みんなが使うものを、みんなが使いやすいように、はじめから考えてデザインするという「ユニバーサルデザイン (UD)」の考え方で、「まち」や「もの」や「サービス」などをつくっていくことが大切です。

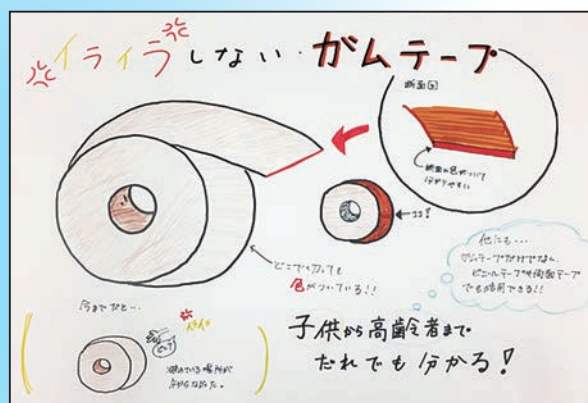
そこで、未来の佐賀県を担う小・中・高校生みなさんが考えた、UD をテーマにした作品を募集します。

募集部門

1 ものづくりの部 ～あなたが考えた“人にやさしいものづくり”を描いてみよう・作ってみよう～

日ごろ、みんなが使うもので、こんな工夫をすると「もっと使いやすくなる」、「たくさんの人が使えるようになる」といった、ユニバーサルデザインの考え方による“人にやさしいものづくり”をイラストや工作などで分かりやすく表現したもの。

イラストは、A1～A3 程度の画用紙、模造紙など、工作は、幅・奥行・高さの合計が 100cm 以内を目安に、みんなが分かりやすいよう提案してください。



昨年 (平成 28 年) 度アイデア作品の部大賞作品
『イラストしないガムテープ』

2 ポスター・かべ新聞の部 ～あなたが描いたポスターやかべ新聞で“人にやさしい街づくり”を広めよう～

ユニバーサルデザインの考え方による“人にやさしい街づくり”をポスター形式で分かりやすく表現したもの。

街なかにある、お年寄りや障がいのある方、妊娠中の方、子育て中の方などに配慮した建物や設備、製品、サービスなどに関して、学習したり調べたりしたことをかべ新聞にまとめたもの。

A1～A3 程度の画用紙、模造紙などを目安にしてください。

お問い合わせ先

〒 840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59
佐賀県 県民環境部 県民協働課
ユニバーサル社会推進担当
TEL : 0952-25-7068
FAX : 0952-25-7561
E-Mail : kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp

平成 29 年度「やまぐちユニバーサルデザイン大賞」の募集

山口県では、高齢者や障害のある人などを含むすべての人が利用しやすいように、施設、製品、サービスなどに配慮を行う「ユニバーサルデザイン」の考え方を踏まえた取組を推進しています。

この取組の中で、ユニバーサルデザインの普及啓発を図るため、本年度もユニバーサルデザインに配慮した活動（取組）やアイデアを募集します。

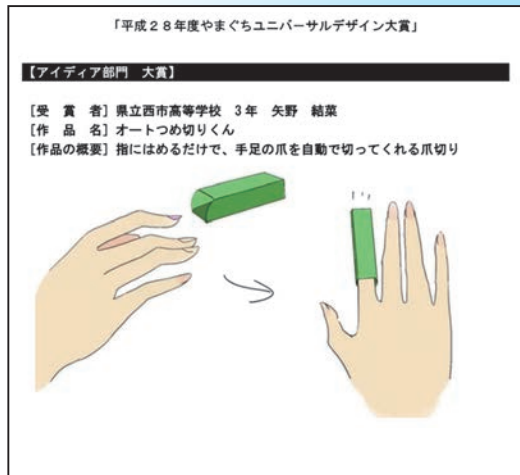
募集部門

<活動部門>

誰もが快適で、安心して暮らすことができるよう、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり、ものづくり、情報・サービスの提供、意識づくりなどを進めるため、個人及び団体・企業が行っている活動（取組）

<アイデア部門>

ユニバーサルデザインに配慮した製品や設備、施設、まち、情報・サービスについて、自らが発案したアイデア



昨年（平成 28 年）度アイデア部門大賞作品
『オートつめ切りくん』

お問い合わせ先

〒 753-8501 山口県山口市滝町 1 番 1 号
山口県健康福祉部厚政課地域保健福祉班
TEL：083-933-2724
FAX：083-933-2739
E-mail：a13200@pref.yamaguchi.lg.jp

平成 29 年度「たかまつユニバーサルデザインアイデアコンテスト」の募集

私たちのまちには、子どもや大人、高齢者、障がい者、外国の人など、いろいろな人が一緒に暮らしています。ユニバーサルデザインは「できるだけ多くの人を使いやすいものや、暮らしやすいまちをデザインする考え方」のことであり、ユニバーサルデザインを取り入れた社会づくりが求められています。

そこで、いろいろな人の立場になって、街や家、学校の中に「こんなものがあったら便利だな」「こんな工夫をしたら使いやすくなるかな」というようなユニバーサルデザインを取り入れたアイデアを募集します。

募集部門

小・中学生の部

市内の小・中学校に在籍している児童・生徒

一般の部

市内に在住又は、通勤・通学している人（高校生以上の方）

応募できる作品は、自分で考えたもので、未発表のもの（他のコンクールに応募したり、新聞・雑誌などに発表したりしていないもの）に限ります。

お問い合わせ先

〒 760-8571 香川県高松市番町 1-8-15 本庁舎 4 階
高松市市民政策局 政策課
ユニバーサルデザイン推進室
TEL：087-839-2141
FAX：087-839-2125
E-mail：seisaku@city.takamatsu.lg.jp



昨年（平成 28 年）度一般の部最優秀賞作品
『牛乳ジップロック』

高齢社会に取り組む国際標準化

東洋大学名誉教授 やまだはじめ 山田 肇

社会の高齢化は世界共通の課題であり各国で二種類の政策が主に展開されている。第一は医療と介護・生活支援とを連携させ地域として提供する、高齢者の地域活動への参加を促すといった地域政策である。第二は、バイタルセンサーを装着した高齢者の状態をネット経由で病院がモニターして対応するといった、高齢者個人に注目した健康・医療政策である。

地域政策に着目した標準化

地域政策は各国固有の制度に基づいたため国際的統一はむずかしい。しかし、基本的事項をガイドラインとして取りまとめたり、チェックリストを提供したり、よい事例を収集したりできる。地域政策のマネジメントに資する国際合意を形成することを主目的とする活動が国際標準化機構 (ISO) で英国から提案された。それが TC Ageing Societies の設立である。新 TC 提案に対する投票は10月26日

に終了し、来春には第1回会合が開催される見込みである。ヒトの発達段階は「4か月で首がすわる」というように平均月齢・年齢で語られる場合が多い。一方、老化の進行は人さまざまに「平均」は定めにくい。

わが国では大規模調査によつて、男性はおよそ20%が60歳代で急速に、70%は70歳代後半から老化が進み、残りの10%はいつまでも元気なことがわかった。高齢社会に対応する標準化活動には高齢者の多様性を反映しなければならぬ。英国からの新 TC 提案に先立って作成された ISO IWA 182016 には、わが国での調査結果が利用された。

英国の新 TC 提案には認知症にやさしい地域社会、高齢者就業、健康増進と病気の予防、社会への包摂などが標準化の可能性がある項目として含まれている。後の三つは70歳代後半からの老化の進行を抑える地域政策に関係し、わが国では健康寿命の延伸が対応する。認知症にや

さしい地域社会はすでに老化が始まった高齢者を対象とし、既発行の ISO PAS 1365:2015 を基に国際標準を作りたいと英国は希望している。

高齢者就業チェックリスト

高齢者就業の提案理由を英国は「就業期間の延伸は対象の高齢者、雇用主、そして広く社会に大きな利益をもたらす。就業環境の設計、職場で利用する技術、就業形態などの国際標準化は雇用可能性を最大化する。」と説明している。

この夏、高齢者就業について国内の関係機関をヒアリングした。その結果「高齢者の多様性に対応するため経営陣は個々の就業希望者に話を聞き、それぞれに適した就業環境・就業内容を提示するのがよい。」という共通意見が得られた。高齢者と相談する際に就業環境・就業内容に関して一般的に配慮すべき事項が列挙されたチェックリストがあれば便利で、国際標準の

候補としてわが国から提案できるだろう。

おわりに

国際電気標準会議 (IEC) は2016年に SYC AAL を組織したが、これは個人の自立生活支援を目的とした国際標準化である。自立生活支援サービスが商用化されれば、システムインテグレーターのほか、センサーなどの部品メーカーから警備会社まで多くの企業にビジネスチャンスが生まれる。ISOでのマネジメント標準も、品質保証がそうであったように、企業経営に影響を与える可能性がある。わが国企業が関心を高めこれらの活動に参加するように期待する。



東洋大学名誉教授、特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム理事長、コンサルタント。科学技術振興機構社会技術研究開発センター「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」研究開発領域総括。高齢社会対応標準化国内委員会委員長、IEC SyC AAL 日本代表。編著「情報アクセシビリティ：やさしい情報社会に向けて」(NTT 出版) など著書多数。

共用品研究所 第1回勉強会

二〇一七年一月一日付けで機構内に共用品研究所(後藤芳一所長)を設置しました。本研究所では、機構本体の共用品・共用サービスに関わる実践と密接に連携し、機構内外における共用品に関する学術的研究を進めることを目的としています。研究所は機構内の一組織ですが、役割としては、共用品の普及をめぐる実践(機構本体)に対し共用品に関する学術的取り組み(共用品研究所)という「車の両輪」の位置付けです。

企業の関連部門担当者など外部から二十四名の方にご参加いただき、九月二十二日に第一回勉強会を開催しました。「共用品、これからの活用方法」をテーマとして、三つの講演(「共用品研究所の設立の目的と活動」、「改訂版ガイド71・共用品へのトップダウンのアプローチ」、「共用品市場規模調査の読み方と活用方法」)の後、意見交換会を行いました。日ごろ共



第1回勉強会の様子

用品と関わっている方々からは研究所設立意図に対する共感とともに、研究支援への期待や研究参加への意欲など積極的な声が上がりました。

設立から日が浅く確定していないことも多い研究所ですが、毎月の運営会議や対外活動を通して、少しずつ形を作っているところであります。将来的には、共用品に関する総合的な研究機能を備えた、内外研究機関のハブの役割が担える研究所を目指しています。

まつもり
松森ハルミ

国際福祉機器展生活支援コーナー 総括のセミナー

9月27日～29日までの3日間、東京ビックサイトで行われた「国際福祉機器展(HICR)」には、15か国、1地域の526企業・団体が参加、約2万点の商品等が展示され、のべ12万1528人の来場者を迎えました。

共用品推進機構では、2009年から主催特別企画の「高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー」の企画・運営の委託を受けました。委託を受けた3年度目の2012年に「コーナータイトルを「片手で使えるモノ展」としたところ、朝から終了まで3日間、人が途切れることがありませんでした。展示は、家事、料理、食事、入浴・トイレ、余暇・文化のシーンに分け、そこにHICRに出展している各社から「片手で使える商品」を出展していただく方式をとったのは、前年までと同じなのですが、多くの方々に関心を持っていただいたのはコーナーの名称でし

た。次年度以降も、「目からウロコ展」、「いつまでも元気に働く10のコツ展」、合理的配慮を製品で表現した「マイサイズ展」などを行ない多くの方々から「なるほど!」の声をいただきました。そこで、本年は、これまでの総括として、HICRの会期中に会議棟で開催される「HICRセミナー」に、「高齢者・障害者に役立つ生活支援用品の紹介とその開発視点」というタイトルで話をさせていただきます。300名近くの方が参加、共用品誕生の歴史、共用品関連規格、共用サービスからHICRの展示に至るまでを紹介させていただきます。

ほしかわやゆき
星川安之



セミナーの様子

「JISマーク普及・新市場創造型標準化制度活用企業展」に出展

10月20日（金）、JRさいたま新都心駅東西自由通路で経済産業省関東経済産業局が主催する「JISマーク普及・新市場創造型標準化制度活用企業展」に出展しました。

経産省が毎年10月を「工業標準化推進月間」と定め、工業標準化に貢献した方への表彰式をはじめ、各種行事を開催・後援し、普



展示全体の様子



説明する様子

及啓発を行っています。本イベントにおいて中小企業による標準化事例や共用品・共用サービスを紹介することで、企業関係者や一般消費者にも標準化の必要性や可能性を広く普及させることを目的としています。

当日は、JISマークや工業標準化に関する展示や説明を通じて、身の回りにおけるJIS規格を採用した製品の紹介をしました。

第15回福祉まつり（千代田）に出展

千代田区役所と高齢者総合サポートセンター「かがやきプラザ」で第15回福祉まつりが10月21日（土）に開催されました。出展は5度目で、今回も共用品の配慮を箱の中で触って探すクイズを行いました。クイズに参加し、正解した方には（一財）日本児童教育振興財団と小学館集英社プロダクションからご提供いただいたドラえもんノートとシールをプレゼントしました。

あいにくの雨でしたが、たくさんの子ども達や保護者の方がクイ



景品のドラえもんのノートとシール



箱の中を覗く子

ズに参加してくれました。

参加者からは、「サンプルとリンスが触って区別できるのは知っていたけれど、ボディソープも区別できるとは知らなかった」、「このように区別したことがなかったので、とても新鮮な気持ちだった」との感想をいただきました。

当日の様子は、共用品のブログでご覧いただけます。

<http://www.kyoyohin-news.org/>

杉並区における共用品・共用サービスの広がり

杉並区障害者団体連合会

共用品推進機構は、発足当初から不便さ調査・良かったこと調査は全国組織の当事者団体と、関連する規格も全国規模の業界団体と連携し、国内外に共用品・共用サービスの普及に努めてきました。5年前より、国際的事業も大切だが地域への普及も大切との理事会での見解により地域活動を始めています。私の住んでいる杉並区では杉並区障害者団体連合会によって地に足のついた活動が15の当事者団体が参加し行われています。

10月14日、同団体の高橋博会^{たかはしひろし}長の講演を、「西荻を楽しむ会」が



杉並を楽しむ講座チラシ



講演風景

主催となり、『障害者に使いやすい』は、みんなに便利』というタイトルで行いました。土曜日の夜にもかかわらず会場の信愛書店のイベントスペース enigawa には、町内会、商店会のほか、体育館、新聞配達会社、視覚、聴覚関係者に加え、杉並区の障害福祉課長など、幅広い人に集まっていたいただき、福祉、共用品を考える良い機会になりました。参加された方々の感想を一部ご紹介します。

・地域の体育館として何ができるか改めて考える機会になりました。



すぎなみフェスタ

・実際にいろいろな方がご出席で、話がつきない感じでしたね。

・高橋さんのお話、それとご参加の皆様が実に多様でいらっしやうてとても楽しく有意義な会をありがとうございました。今日の本の社会：暗い気持ちになりませんが、地域は捨てたもんじやない！と改めて思いました。

すぎなみフェスタでデビュー講座を開くにあたって、各障害当事者団体を廻り、また杉並区の人たちにも共用品を紹介したところ、11月4日、5日に杉並区内で



新しいパンフレット

開催された「すぎなみフェスタ」の杉並区障害福祉課のブースで、共用品の新しいパンフレットを参加者約3000人に配布していただくこともできました。

なお、新しいパンフレットは、表紙にかしわ餅の絵を大きく載せました。江戸時代、葉を表側か裏側かどちらからまくかで、こし餡と味噌餡を区別していたことが、現代の共用品に繋がっていることを表現しています。

海外から地域へ、地域から海外へのつながり、どちらも大切と実感しました。

星川安之

マニュアルにないこと

【事務局長だより】
星川安之



まだ各駅に自動改札機が導入される前、各駅の改札では駅員さんが、乗客の切符にはさみをカチカチいわせながら切り欠きを入れていた。技術の進歩により、自動改札機が導入され切符を確認する仕事は駅員さんの手から離れた。そうなった直後、白い杖を使っている目の不自由な人達から、改札口の場所が分かりづらくなつたと聞いた。「自動改札が導入される前は、白杖をついている私が改札口に近づくと、駅員さんたちが、切符を切る「カチカチ」を、とても大きな「カチカチ」の音に変えてくれていたので、改札がどこにあるのかが分かったけれど、自動改札が導入されてからはそれはなくなった・・・」と、複数の人から聞いた。JR 東日本の方と話す機会があり、「目の不自由な人が改札口に近づいた時には、カチカチの音を大きくするのは、マニュアルにあるのですか？」と尋ねた。「マニュアルにはありません。各駅の駅員が臨機応変におこなったことと思います」と答えが返ってきた。

10月22日(日)の大型台風が日本列島を襲った日、私は神戸で難病の「表皮水泡症友の会」の創設10周年会合に出席。夕方5時に終わって、すぐに新幹線で東京に戻るために、在来線で新大阪に向かったが、芦屋で電車は止まり、帰京を諦め芦屋の駅前ホテルに駆け込んだ。フロントに尋ねると「既に満室」とのこと、近くのホテルを紹介してもらい電話。2軒目の尼崎にあるホップインホテルで

「空いてます」にほっとして予約。芦屋駅前からタクシーで向かおうと列に並んだところ、100名ほどの列。大雨と強風の中、タクシーは1時間に4台ほど。1時間待ち、これは無理だと、尼崎行きバスを教えてもらい飛び乗り、40分。着いたところは、阪神尼崎駅。駅前の東急インのフロントで予約できたホップインホテルの場所をたずねると、「ここは、阪神尼崎。JR 尼崎駅の近くにあるホップインホテルは、普段でも歩いて30分です」に「えっ!」。阪神尼崎の駅前のタクシーにも長蛇の列。そこで、何としても歩いて行こうと決意をし、予約しているホップインホテルに電話し、道順を尋ねた。電話の向こう側で一瞬の間の後、「この大雨の中、徒歩では無理です。車で迎えにいきます」と。そんなことをしてくれるホテルに、二度目の「えっ!」。迎えに来てくれた車で、JR 尼崎のホテル「ホップインホテル」に向かうが、いままでに見た事のない大雨と大風、すっかり暗くなった道には、人っ子一人いなかった。自分が歩いていこうとしたことの無謀さに愕然とした。車の中で「こんなことまでしていただいて」とお礼を言うと、「こんなことぐらいしかできないですから」と返ってきた。

寒い日だったがマニュアルにない好意に心がとても温かくなった。

共用品通信

【イベント】

「JIS マーク普及・新市場創造型標準化制度活用企業展」に出展(10月20日)

第15回福祉まつり(千代田)に出展(10月21日)

とっておきのアイデアコンテスト表彰式(11月3日)

【会議】

第1回 ISO/TC173 国内検討委員会(9月1日)

第1回 ISO/TC159 国内検討委員会(9月8日)

第1回パッケージに関する良かったこと調査委員会(9月14日)

とっておきのアイデアコンテスト審査委員会(9月29日)

【講義・講演】

H.C.R. セミナー(9月29日、星川)

自由学園 リビングアカデミー講座(9月30日、星川)

東京都港区立芝浦小学校 共用品授業(10月18日、森川)

千葉市視覚障害者協会 講演(10月20日、星川)

日本工業大学 講座(10月24日、星川)

日本福祉大学 名古屋スクーリング(10月28・29日、星川、森川、金丸)

【報道】

デフリンピックの工夫(日本経済新聞 10月21日)

より多くの人を楽しめる映画へ(厚生福祉 10月6日)

モンゴル盲人連合との連携(厚生福祉 10月17日)

岡山県立図書館のユニバーサルデザイン(厚生福祉 10月27日)

誰もが楽しめる映画へ(月刊トイジャーナル 11月号)

盲人用具の工夫は、ユニバーサルデザインの原点(JADMA NEWS 9・10月号)

電動歯ブラシ(エルダリープレス 10月号)

アクセシブルデザインの総合情報誌 第111号

2017(平成29)年11月25日発行

"Incl." vol.17 no.111

The Accessible Design Foundation of Japan

(The Kyoyo-Hin Foundation), 2017

隔月刊、奇数月発行

編集・発行(公財)共用品推進機構

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-4 OGA ビル2F

電話:03-5280-0020

ファクス:03-5280-2373

Eメール:jimukyoku@kyoyohin.org

ホームページ URL: http://kyoyohin.org/

発行人 富山幹太郎

編集長 山川良子

事務局 星川安之、森川美和、金丸淳子、松森ハルミ、田窪友和

執筆 後藤芳一、高橋儀平、竹内攻、中田誠、山田肇、東京都福祉保健局 福祉のまちづくり担当

デザイン 関戸菜美 写真 白岡直子(表紙、特集)

表紙写真 第2回「とっておきのアイデアコンテスト」表彰式

編集・印刷・製本 サンパートナーズ(株)

本誌の全部または一部を視覚障害者やこのままの形では利用できない方々のために、非営利の目的で点訳、音訳、拡大複写することを承認いたします。その場合は、共用品推進機構までご連絡ください。

上記以外の目的で、無断で複写複製することは著作権者の権利侵害になります。